

平成26年10月10日

各 位

東北大学埋蔵文化財調査室長 阿子島香

仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第15地点の現地説明会の開催について（案内）

当調査室の運営につきまして、ご協力いただきありがとうございます。

東北大学川内北地区で計画されている課外活動施設新営に伴う埋蔵文化財調査につきまして、調査成果がおおむねまとまりましたので、現地説明会を開催いたします。お忙しい中とは存じますが、ご来跡くださるよう、ご案内いたします。

#### 記

日時：平成26年10月18日（土）13:00～

現地説明会后、萩ホール（百周年記念会館）展示ギャラリーで開催している常設展『川内今昔物語』もあわせてご覧いただけます。

場所：仙台市青葉区川内41 東北大学川内北キャンパス

「東北大川内キャンパス・萩ホール前」バス停より徒歩2分。

※駐車スペースが限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

#### 調査の概要

- ・仙台城二の丸の北側に広がる、武家屋敷地区の調査である。城下絵図の記載との照合から、比較的身分の高い家臣の屋敷が置かれた地区と考えられる。
- ・江戸時代の初頭から幕末に至る時期の、溝・池状遺構・堀跡などの多数の遺構と、陶磁器をはじめとする多数の遺物が発見された。
- ・今回の調査区は、屋敷の裏手の、4区画の屋敷が接する部分に相当すると考えられ、屋敷の区画に関わる段差・溝・堀などが発見された。
- ・これまでの周辺での調査成果を合わせて検討することで、2区画分の屋敷の大きさが、ほぼ判明した。文献記録に残る、屋敷地の大きさの基準にほぼ一致する。
- ・建物が配置される区域、裏手の建物が少ない区域など、屋敷内での土地利用のあり方が、おおむね明らかとなった。
- ・屋敷地の具体的な大きさや土地利用の実態など、仙台城周辺の武家屋敷の実態を明らかにする上で、重要なデータが得られた。

連絡先：東北大学埋蔵文化財調査室（片平） 022-217-4995

埋蔵文化財調査室川内現場事務所 022-795-3378